

## 2002 年度 工学部都市環境システム学科 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TE001001	都市環境システムセミナー	2.0	1 年前期金曜 4 限	都市環境全教官	都 A 5
TY016001	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	宮崎 清	都 A 5
TY017001	図学演習	2.0	1 年前期金曜 2 限	永田 喬	都 A 6
TY017003	図学演習	2.0	1 年前期水曜 3 限	(田中 修一) 他	都 A 6
TE002001	都市環境システム学外演習	2.0	1 年通期集中	(小黒 利昭)	都 A 7
TE003001	都市環境基礎演習 I	2.0	1 年後期木曜 4 限	(佐々木 聡)	都 A 7
TE004001	プログラミング言語	2.0	2 年前期水曜 5 限	(大澤 範高)	都 A 7
TE005001	プログラミング演習	2.0	2 年前期木曜 6 限	(大澤 範高)	都 A 8
TE005002	プログラミング演習	2.0	2 年前期火曜 5 限	(小林 暁)	都 A 8
TE006001	ネットワーク基礎 I	2.0	2 年前期火曜 4 限	須貝 康雄	都 A 8
TG094002	回路理論 I	2.0	2 年前期金曜 4 限	天沼 克之	都 A 9
TE007001	都市情報計画 I	2.0	2 年前期水曜 5 限	柘植 喜治	都 A 9
TE008001	環境文化論	2.0	2 年前期月曜 5 限	宮崎 清	都 A 10
TE009001	都市環境基礎演習 II	2.0	2 年前期木曜 3 限	(平岡 善浩) 他	都 A 10
TE010001	情報システム I	2.0	2 年後期水曜 3 限	深澤 敦司	都 A 10
TE011001	信頼性システム設計 I	2.0	2 年後期月曜 2 限	佐藤 建吉	都 A 11
TE012001	都市環境共生 I	2.0	2 年前期水曜 3 限	青柳 象平	都 A 11
TE013001	環境社会学	2.0	2 年後期集中	(原口 弥生)	都 A 12
TE014001	都市環境システム演習 I	2.0	2 年後期木曜 3 限	都市環境全教官 他	都 A 12
TE015001	都市居住計画	2.0	3 年前期金曜 3 限	延藤 安弘	都 A 13
TE016001	都市防災科学	2.0	3 年前期月曜 2 限	中井 正一	都 A 13
TE029501	基礎地盤工学	2.0	3 年後期月曜 3 限	中井 正一	都 A 14
TE017001	環境経済学	2.0	3 年前期木曜 2 限	(倉阪 秀史)	都 A 14
TE018001	都市環境エネルギー論 I	2.0	3 年前期水曜 2 限	前野 一夫	都 A 15
TE019001	通信環境システム I	2.0	3 年前期水曜 4 限	伊藤 公一	都 A 15
TE020001	マルチメディア論	2.0	3 年前期月曜 3 限	塩田 茂雄	都 A 16
TE021001	専門英語 I	2.0	3 年前期火曜 5 限	都市環境全教官	都 A 16
TE021002	専門英語 I	2.0	3 年前期火曜 5 限	池田 宏明	都 A 16
TE022001	都市環境システム演習 II	2.0	3 年前期木曜 5 限	大坪 泰文 他	都 A 17
TE023001	都市環境システム特別セミナー I	2.0	3 年前期集中	都市環境全教官	都 A 17
TE024001	都市環境システム実習	2.0	3 年通期集中	都市環境全教官	都 A 17
TE025101	プロジェクト研究 A	2.0	3 年通期集中	都市環境全教官	都 A 18
TJ020101	都市環境デザイン	2.0	3 年後期水曜 6 限	北原 理雄	都 A 18
TE043001	都市建築デザイン	2.0	3 年前期木曜 6 限	宇野 求	都 A 19
TE042001	地域環境デザイン	2.0	3 年後期火曜 3 限	三国 政勝	都 A 19
TE028001	環境制度論	2.0	3 年後期木曜 2 限	(倉阪 秀史)	都 A 20
TE029001	都市計画マネージメント I	2.0	3 年後期月曜 4 限	(原 昭夫)	都 A 20
TE030001	環境基礎解析 I	2.0	3 年後期水曜 4 限	腰越 秀之	都 A 21
TE031001	システム評価	2.0	3 年後期火曜 4 限	塩田 茂雄	都 A 21
TE032001	生産再生設計論 I	2.0	3 年後期火曜 5 限	小倉 裕直	都 A 22
TE033001	複雑系概論	2.0	3 年後期集中	(松下 貢)	都 A 22
TE034001	専門英語 II	2.0	3 年後期月曜 5 限	(Jack Leaver)	都 A 22
TE034002	専門英語 II	2.0	3 年後期月曜 5 限	(Matthew Wichiens) H	都 A 23
TE035002	都市環境システム演習 III	2.0	3 年後期土曜 1 限	(小川 晃一)	都 A 23
TE035003	都市環境システム演習 III	2.0	3 年後期土曜 4 限	(小川 晃一)	都 A 23
TE035004	都市環境システム演習 III	2.0	3 年後期木曜 5 限	(塩島 壯夫)	都 A 24
TE035005	都市環境システム演習 III	2.0	3 年後期月曜 7 限	(神谷 清)	都 A 24
TE037001	地球環境システム論	2.0	4 年前期木曜 4 限	(内山 茂久)	都 A 24
TE038001	都市環境マネージメント I	2.0	4 年前期水曜 3 限	(都市環未定)	都 A 25

## 2002 年度 工学部都市環境システム学科 シラバス

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TE039001	都市環境システム特別セミナー II	2.0	4 年前期集中	都市環境全教官	都 A 25
TE040101	卒業研究	6.0	4 年通期集中	都市環境全教官	都 A 25
TZ021001	応用数学 I	2.0	3 年前期集中	(今井 仁司)	都 A 26

授業科目名 : 都市環境システムセミナー  
 科目英訳名 : Seminar: Introduction to Urban Environment Systems  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T015  
 開講時限等: 1 年前期金曜 4 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[講義目的] 都市環境システムの学問を学ぶ人達を対象に、環境プランニングコースやメディアプランニングコースの双方の学問のみならず、広い範囲の学問について、勉学の方法や態度、問題意識や関心の持ち方などについて、学びつつ考察して行く。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 造形演習  
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)  
 担当教官 : 宮崎 清  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2B4  
 開講時限等: 1 年前期火曜 5 限  
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 物質機能			専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度 1997 年
T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 図学演習  
 科目英訳名 : Descriptive Geometry  
 担当教官 : 永田 喬  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2BA  
 開講時限等: 1 年前期金曜 2 限  
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)

[講義目的] 空間を把握し、操作、表現する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な三次元空間表示のため、基礎的図法の理論の学習と演習を行う。授業は二部構成とし、第一部は平行投影図法、第二部は中心投影図法からなる。

[講義内容] (記述なし)

[履修条件] 作業用具が必要となる。

[教科書・参考書] 研究室で編集したテキストを用いる。

授業科目名 : 図学演習  
 科目英訳名 : Descriptive Geometry  
 担当教官 : (田中 修一), 田山 茂夫  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2BB  
 開講時限等: 1 年前期水曜 3 限  
 講義室 : 工 10-412 製図室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)

[講義目的] 製図用具の使用方法から始まり、デザインの思考展開および伝達手段として必要な 3 次元空間表示のための基礎的図法の理論の学習と演習を行う。

[講義内容] 線と文字の演習、平面図学、立体図学、正投影図法、等測図法、陰影図法、一消点透視図法、二消点透視図法、簡単な設計課題等

[履修条件] 製図用具が必要となる

[教科書・参考書] 建築とデザインのための図形科学、培風館。建築立体図法、技術書院

授業科目名 : 都市環境システム学外演習  
 科目英訳名 : Field Seminar in Urban Environment Systems  
 担当教官 : (小黒 利昭)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T016

開講時限等: 1 年通期集中  
 講義室 : 未定 (工学部)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境					専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門選択 (F30)

[講義目的] 各地の都市開発プロジェクト、まちづくり、建築施工現場、歴史的町並み、古建築などを実際に見学し、その結果を発表・討論することによって、都市環境に対する理解を深める。

[講義内容] まず、1～2 回の講義を通して建物や都市がどのように計画・設計・建設されるのかを学ぶ。ついで、事前説明で与えられた課題に沿って、実際の建物の施工現場、都市インフラ施設、地域開発プロジェクト、街並みなどを調査・観察し、報告書を作成する。なお、事例は年度により異なる。

[備考] 授業日程等の詳細については学科掲示板を参照のこと

授業科目名 : 都市環境基礎演習 I  
 科目英訳名 : Basic Design of Urban Environment I  
 担当教官 : (佐々木 聡)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T017

開講時限等: 1 年後期木曜 4 限  
 講義室 : 工 都市環境システム学科 演習室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門選択必修 (F20)

[講義目的] 初歩的な都市環境の課題について建築的 / 都市デザインあるいはエンジニアリングの発想を育て、構想し、まとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーと基礎的トレーニングを行う。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : プログラミング言語  
 科目英訳名 : Computer Programming Languages  
 担当教官 : (大澤 範高)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T018

開講時限等: 2 年前期木曜 5 限  
 講義室 : メディア基盤センター実習室 1

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ1:都市環境 環境					専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門必修 (F10)

[講義目的] 電子計算機に所定の機能を発揮させるための一連の手続きをあらかじめ指定するためのプログラミング言語の考え方について概観し、具体的なプログラミング言語として C 言語を取り上げ、その仕様と文法を教授する。

[講義内容] (記述なし)

[備考] この授業の後に行なうプログラミング演習と同時に履修すること。

授業科目名 : プログラミング演習  
 科目英訳名 : Computer Programming Practice  
 担当教官 : (大澤 範高)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T01A

開講時限等: 2 年前期木曜 6 限  
 講義室 : メディア基盤センター実習室 1

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ			専門選択 (F30)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン			個別科目 (C14)		
TJ1:都市環境 環境					専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門必修 (F10)

[講義目的] プログラミング言語は人工言語であるが、自然言語と同様に実際に使用しないと身につかない。この観点から C 言語の仕様・文法の修得に併せて、具体的な問題を設定してそれに対するプログラミングを実習する。

[講義内容] (記述なし)

[履修条件] 「情報処理」を履修しておくこと。この授業は、木曜のプログラミング言語と対をなす演習である。

授業科目名 : プログラミング演習  
 科目英訳名 : Computer Programming Practice  
 担当教官 : (小林 暁)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T01B

開講時限等: 2 年前期火曜 5 限  
 講義室 : メディア基盤センター実習室 2

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ			専門選択 (F30)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン			個別科目 (C14)		
TJ1:都市環境 環境					専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門必修 (F10)

[講義目的] プログラミング言語は人工言語であるが、自然言語と同様に実際に使用しないと身につかない。この観点から C 言語の仕様・文法の修得に併せて、具体的な問題を設定してそれに対するプログラミングを実習する。

[講義内容] (記述なし)

[履修条件] 「情報処理」を履修しておくこと。この授業は、火曜のプログラミング言語と対をなす演習である。

授業科目名 : ネットワーク基礎 I  
 科目英訳名 : Network Fundamentals I  
 担当教官 : 須貝 康雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T01C

開講時限等: 2 年前期火曜 4 限  
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ			専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境					専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門必修 (F10)

[講義目的] ネットワークの基礎として、グラフ理論を学ぶ。グラフの定義、平面グラフ、最短経路問題、最大フロー問題、線形計画問題、組合せ問題等について具体例と共に解説する。

[講義内容] (記述なし)

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 未定

授業科目名 : 回路理論 I  
 科目英訳名 : Electric Circuit Theory I  
 担当教官 : 天沼 克之  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T170

開講時限等: 2 年前期金曜 4 限  
 講義室 : 工 17 号棟 113 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境						TC:電気電子 B	1997 年 専門必修 (F10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ		専門選択 (F30)					
TG:電子機械 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TK:先進科学プログラム					専門選択必修 (F20)		

[講義目的] 電気回路の基本的な考え方, 表現方法, 解析方法及び物理的現象の意味などの電気電子工学の基礎知識を学習する。さらに, 専門科目「回路理論 I 演習」を履修して, 演習問題を繰り返し解くことによってこれら基礎知識の理解を一層深め, 電氣的センスを身に付けることを目的とする。

[講義内容] まず, 直流回路における電圧, 電流, 電力の物理的意味, 直並列接続, オームの法則, キルヒホッフの法則などの基礎知識を学ぶ。続いて, 交流回路における電圧, 電流の定義, インダクタとキャパシタの働き, インピーダンスとアドミタンスの概念を理解し, 交流回路の複素数表現について学ぶ。さらに, 網目解析法, 節点解析法, 電気回路の諸定理を学ぶことにより線形回路の解析法を習得し, 最後に, 三相交流の概念を学ぶ。

[履修条件] 微分, 積分, 三角関数, 行列などの基礎知識があればよい。

[教科書・参考書] 「基礎電気回路」齊藤制海、天沼克之、早乙女英夫共著、朝倉書店

授業科目名 : 都市情報計画 I  
 科目英訳名 : Urban Environment Produce I  
 担当教官 : 柘植 喜治  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T01D

開講時限等: 2 年前期水曜 5 限  
 講義室 : 工 15 号棟 110 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ			専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境					専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門選択必修 (F20)

[講義目的] 私たちは, 都市環境のなかで遭遇するさまざまな事象や刺激を選択的に受容しながら, それぞれの生活を送っています。この授業では, それらの事象や刺激を情報という概念で把握し, 安全で快適な都市生活環境における情報のあり方, そのデザイン手法について, 具体的事例を紹介しながら, 考察します。

[講義内容] 第 1 回 都市の情報とは, 第 2 回 都市を体験する, 第 3 回 都市を感じる (見る, 嗅ぐ, 味わう, 聞く, 触る), 第 4 回 都市を記憶する, 第 5 回 都市を観察する, 第 6 回 都市を調べる, 第 7 回 都市を表す, 第 8 回 都市の価値をみつける, 第 9 回 都市に溢れる, 第 10 回 都市で見せる・隠す, 第 11 回 都市で演じる, 第 12 回 都市を動かす, 第 13 回 都市を楽しむ, 第 14 回 都市をプロデュースする, 第 15 回 まとめ・小論文

[履修条件] 特になし

授業科目名 : 環境文化論  
 科目英訳名 : Theory of Urban Design  
 担当教官 : 宮崎 清  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T01E  
 開講時限等: 2 年前期月曜 5 限  
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン			その他 (Z99)	専門選択 (F30)	
TG:電子機械 A			専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 生活を取り巻く環境には、さまざまな問題が顕在化しています。それらの諸問題に関する歴史的・比較文化的考察を踏まえながら、望ましい生活環境の創造に向けて私たちが実践していくべき事柄について考察します。

[講義内容] (記述なし)

[履修条件] 特にありません。

[教科書・参考書] 授業の進行にあわせ、授業のなかで紹介します。

授業科目名 : 都市環境基礎演習 II  
 科目英訳名 : Basic Design of Urban Environment II  
 担当教官 : (平岡 善浩), (手嶋 尚人)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T01F  
 開講時限等: 2 年前期木曜 3 限  
 講義室 : 未定 (工学部)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ1:都市環境 環境					専門必修 (F10)

[講義目的] 都市環境基礎演習 I に引き続き、建築 / 都市デザインあるいはエンジニアリングについて構想、企画し、計画を定め、環境として総合的にまとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーと基礎的トレーニングを行う。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 情報システム I  
 科目英訳名 : Information Systems I  
 担当教官 : 深澤 敦司  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T020  
 開講時限等: 2 年後期水曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ1:都市環境 環境					専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門必修 (F10)

[講義目的] 情報、通信工学の発展の経緯を概観し、基礎としてシャノンの情報理論、ウイーナのマッチドフィルタ理論の概要を学び、情報の捉え方の基本を理解することを目的とする。さらに情報、通信システムの概要についても解説する。

[講義内容] (記述なし)

[教科書・参考書] 特になし



授業科目名 : 信頼性システム設計 I  
 科目英訳名 : Reliability Systems Design Engineering I  
 担当教官 : 佐藤 建吉  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T021

開講時限等: 2 年後期月曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ				専門選択 (F30)	
TJ:都市環境 B			専門選択必修 (F20)		
TJ1:都市環境 環境			専門選択必修 (F20)		
TJ2:都市環境 メディア メディア			専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市活動における機器・構造物・システムの信頼性と安全性確保を目的とするシステム設計のための基礎的理論と応用について講義する。

[講義内容] 主なトピックスとしては信頼性・信頼度の概念、信頼性工学と基礎数理、信頼性と故障のパターン（バスタブ曲線）、偶発故障と信頼性、システムの信頼（直列系と並列冗長系）、信頼度関数、有効寿命、摩耗故障と信頼性、指数分布、ポアソン分布、ワイブル分布などである。

[履修条件] 統計学 B を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 改定版「信頼性工学入門」真壁肇 編（日本規格協会）

[備考] Excel を用いて、例題を取り扱う。

授業科目名 : 都市環境共生 I  
 科目英訳名 : Eco-compatible Engineering  
 担当教官 : 青柳 象平  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T022

開講時限等: 2 年前期水曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境					専門選択必修 (F20)

[講義目的] 人の築く都市が自然環境といかに調和・共存し、精神面を含む豊かな生活を支えるか、主に生物の営みに着目して考える。このことについて、主に生物の営みに着目して考える。

[講義内容] (記述なし)

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 環境社会学  
 科目英訳名 : Environmental Sociology  
 担当教官 : (原口 弥生)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T023

開講時限等: 2 年後期集中  
 講義室 : 未定 (工学部)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH1:情報画像 A 情報工学					専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 環境社会学についての基本的構想と研究の概要について理解することがこの講義の目的である。環境と環境問題に関する具体的事例を取り上げながら、環境社会学の視点からどのような研究と分析が行われてきたのか、さらには問題解決に向けてどのような方法論が模索されているのかを考察する。

[講義内容] (1) イントロダクション (フレデリック・バック、地球となかよくしよう) (2) 環境問題とエコシステム (エレン・リチャーズ、レイチェル・カーソン) エコロジーの誕生、環境教育のルーツ (3) 環境問題の構造 チェルノブイリ・水俣病 (4) 環境と環境問題の研究 環境社会学の視点から (水俣) (5) 開発か環境か 環境は誰が決めるのか (あらかわ、諫早湾) (6) 環境ボランティア 市民参加のまちづくり (市民研究活動) (7) 環境的公正、環境正義 環境思想 (8) 環境問題における差別の構造 ジェンダー 人口問題、環境ホルモン (9) 身近な環境問題 ライフスタイルを変える

[履修条件] 特になし

授業科目名 : 都市環境システム演習 I  
 科目英訳名 : Seminar in Urban Environment Systems I  
 担当教官 : 都市環境全教官, (渡邊 之), (渡辺 徹)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T024

開講時限等: 2 年後期木曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室, 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] (環境プランニング) 都市・環境・建築のデザイントレーニングを通じて、都市空間を構想、企画し、計画を定め、総合的デザインにまとめあげていく方法を学ぶ。(メディアプランニング) 都市における情報ネットワークシステムや環境基盤システムの学習に必要な、各学問分野の基礎的なトレーニングを行う。

[講義内容] 次の 4 つのテーマに分かれて演習を行う。AE1. 都市空間・施設の調査・提案 AE2. 環境問題および材料力学 AE3. 電気基礎実験 AE4. 数理演習

[履修条件] (AE1, AE2) は、都市環境基礎演習 I、II を履修していること。(AE3, AE4) は、微分方程式、統計学、力学、電磁気学、フーリエ解析を履修していることが望ましい。

授業科目名 : 都市居住計画  
 科目英訳名 : Urban Housing  
 担当教官 : 延藤 安弘  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T025

開講時限等: 3 年前期金曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン				専門選択 (F30)	
TF4:デザイン A 建築			専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	
TG:電子機械 A			専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 集まって住むことが「わずらわしい」状況をこえて、「楽しい」集住のハード(空間構成)とソフト(コミュニティ形成)の統合はいかにして可能かについて考え、実践への志を高めることが本講義のねらいである。生活の力と空間の力の相互浸透関係のデザインの内実を示す生きのよい事例の視覚的伝達とそれをもとにした対話的授業を目指す。

[講義内容] 講義計画: 1. ハウジングとコミュニティ / 2. 近代化過程におけるハウジング概念と手法の成立 / 3. 住宅地計画における私・共・公の相互関係 / 4. サステナブル・ハウジング / 5. パートナーシップ方式のハウジング / 6. 子どもの目線からの住まい・環境づくり / 7. 住み手参加のデザイン・プロセス / 8. 高齢社会における住環境 / 9. これからの都市居住計画の展望

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 延藤安弘:「集まって住むことは楽しいな 住宅でまちをつくる」鹿島出版会(教科書)  
 「これからの集合住宅づくり」晶文社(参考書)

授業科目名 : 都市防災科学  
 科目英訳名 : Disaster Prevention in Urban Environment  
 担当教官 : 中井 正一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T026

開講時限等: 3 年前期月曜 2 限  
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市の安全を脅かす要因として地震などの自然災害による構造物・地盤の被害を取り上げ、それぞれの発生メカニズムがどのようなものであるかを理解すると共に、これらの災害による被害を最少限に食い止めるための方法論の基礎を学ぶ。自然災害として地震を取り上げ、発生や伝播のメカニズム、振動理論の基礎、耐震設計の考え方、防災計画などについて講義する。

[講義内容] 第 1 部:地震と地震災害(第 1 回:講義概要、地震被害の事例 第 2 回:地震の発生 第 3 回:地震と地震動 第 4 回:地震と地形・地盤) 第 2 部:振動の理論(第 5 回:運動方程式 第 6 回:構造物のモデル化 第 7 回:1 質点系の振動(1) 第 8 回:中間テスト 第 9 回:1 質点系の振動(2) 第 10 回:1 質点系の振動(3) 第 11 回 多質点系の振動 第 12 回:地盤の振動と構造物の振動) 第 3 部:耐震設計と地震防災(第 13 回 耐震設計 第 14 回:地震防災 第 15 回:期末テスト)

[履修条件] 力学や材料力学の知識を有することが望ましい。

[教科書・参考書] 理工図書:地震と建築防災工学(教科書) 鹿島都市防災研究会編:大地震と都市災害(参考書) 守屋喜久夫:新編地震災害と地盤・基礎(参考書) ほか

授業科目名 : 基礎地盤工学  
 科目英訳名 : Foundation Engineering  
 担当教官 : 中井 正一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T034

開講時限等: 3 年後期月曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 全く空中に浮いた建築物が無いことから分かるように、建物と地盤を切り離して考えることはできない。したがって、建物が安全であるためにはその建物がどのような地盤の上に建てられているかを把握することが大切である。この講義では、まず地盤の性質を理解し、ついで建物と地盤の接点である基礎構造について学ぶ。なお、授業では、理解を助けるために必要に応じて簡単な演習問題を出題する。

[講義内容] (記述なし)

[履修条件] 材料力学を履修していることが望ましい

[教科書・参考書] 山肩邦男：建築基礎工学、朝倉書店

授業科目名 : 環境経済学  
 科目英訳名 : environmental and ecological economics  
 担当教官 : (倉阪 秀史)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T027

開講時限等: 3 年前期木曜 2 限  
 講義室 : 工 17 号棟 113 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TG:電子機械 A		専門選択 (F30)			
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 地球環境問題は、人間の経済活動が有限な地球という環境の限界に立ち至ったことを示している。市場での自由競争を旨とする経済システムを維持しながら、経済活動に伴う環境への負荷の総体を環境の限界の範囲内に抑制していくことはできるのだろうか。このような問題意識を持ちながら、環境と経済とのかかわりを経済的に考えていくこととしたい。

[講義内容] 1. 環境と人間の関係 2. 経済の発展と環境 3. 環境の限界 4. 経済学における「環境」の扱い 5. 新古典派経済学の環境問題への処方箋 6. 「共益状態」の経済学

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 追って指示する

[備考] 上記講義室は「試験のための場所」で、通常の講義は総合校舎 B 号館で行ないます。過去の講義のレジュメなどは、<http://www.hh.ij4u.or.jp/~kurasaka> を参照。試験は工学部 214 講義室で、7/25 (木) 2 限に行います。

授業科目名 : 都市環境エネルギー論 I  
 科目英訳名 : Urban Environment Energetics I  
 担当教官 : 前野 一夫  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T028

開講時限等: 3 年前期水曜 2 限  
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境					専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門選択必修 (F20)

[講義目的] エネルギーに関する工学的な基礎事項と、その都市環境における諸問題について理解を深めることが、この講義の目的である。まず、エネルギーと環境の問題についての展望を示し、流体と熱の流れに関する基礎と応用について考察する。

[講義内容] 1. エネルギーとは? 2. 流れと流体、静止した流体の諸特性 3. 流体の流れを支配する基礎法則 4. 管の中の流れと管路システム 5. 川の流れ、地下水の流れ、水波 6. 地球大気の動き、気象 7. 流れから受ける力、抗力と揚力、推進力 8. 熱の流れを支配する基礎法則 9. 固体内の熱の流れ - 熱伝導 10. 固体壁と流体間の熱の流れ - 熱伝達 11. 流体の移動に伴う熱の流れ - 自然対流 12. 流体の移動に伴う熱の流れ - 強制対流 13. 電磁波による伝熱 - 熱放射 \*途中試験を行う

授業科目名 : 通信環境システム I  
 科目英訳名 : Communication Environment Systems I  
 担当教官 : 伊藤 公一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T029

開講時限等: 3 年前期水曜 4 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境					専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門選択必修 (F20)

[講義目的] 移動通信や情報ネットワーク等の急速な発達により、都市を取り巻く通信環境・電磁環境はダイナミックに変化し、複雑化している。本講義では、主に無線、すなわち電波を用いた通信環境システムの基礎を講義する。具体的には、都市における電波環境、無線通信の基礎である電波の発生、伝送および受信、そして我々の身のまわりにある無線通信システムの特色、問題点、および将来について講義する。

[講義内容] [1] イントロダクション(講義の主旨, 進め方, 成績評価方法など) [2] 電波応用の種類(情報伝送, 探査・観測, エネルギー利用) [3] 電波応用の具体例と問題点(携帯電話 / PHS, BS, カーナビ, 無線 LAN, 電子レンジなど) [4] 電波の発生・放射(電波の性質, 発生・放射) [5] 質問・ディスカッション・演習 [6] ~ [8] 電波の伝搬・伝送 / 受信(アンテナの種類・特性, 電波の伝搬, 受信) [9] 情報伝送の基本技術(変調, 放送など) [10] 質問・ディスカッション・演習 [11] 移動通信(特徴, 技術など) [12] 移動通信(代表的システム) [13] 電磁環境 [14] 将来動向 / まとめ / 質問 [15] 試験

[履修条件] 物理学 CI 電磁気学入門 1、物理学 CII 電磁気学入門 2 を履修していることが望ましい。

授業科目名 : マルティメディア論  
 科目英訳名 : Multimedia systems  
 担当教官 : 塩田 茂雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T02A

開講時限等: 3 年前期月曜 3 限  
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 文字・静止画・動画・音声・音楽などの様々な形態の情報（マルチメディア）を，ネットワークを介してやりとりするための技術（マルチメディア通信技術）の基礎を解説する．特に，新たな社会インフラとして急成長しているインターネット上でのマルチメディア通信技術に力点を置く．

[講義内容] 情報と帯域，通信・放送の仕組み，OSI 参照モデル，光ファイバ技術，データリンク層技術（Ethernet，ATM），TCP/IP，品質制御技術，トラヒック技術，音声・画像符号化技術

[教科書・参考書] 教科書はなし．参考図書：「マルチメディア情報ネットワーク」村田正幸著（共立出版），「コンピュータネットワーク」A・S・タネンバウム著（ピアソン・エデュケーション），等．

授業科目名 : 専門英語 I  
 科目英訳名 : English for Urban Enviroment Systems I  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T02B

開講時限等: 3 年前期火曜 5 限  
 講義室 : 工 17 号棟 特別教室（都市環境），工 17 号棟 215 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ1:都市環境 環境					専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門必修 (F10)

[講義目的] 都市環境に関わる英文テキストの講読を通じて、専門的文章の読解力と表現力を養い、併せて国際的な視野で都市環境問題を考える理解力を育てる。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 専門英語 I  
 科目英訳名 : English for Urban Enviroment Systems I  
 担当教官 : 池田 宏明  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T02C

開講時限等: 3 年前期火曜 5 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ1:都市環境 環境					専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門必修 (F10)

[講義目的] 都市環境に関わる英文テキストの講読を通じて、専門的文章の読解力と表現力を養い、併せて国際的な視野で都市環境問題を考える理解力を育てる。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 都市環境システム演習 II  
 科目英訳名 : Seminar in Urban Environment Systems II  
 担当教官 : 大坪 泰文, (阿部 彰), (石出 忠輝), (柴 慶治), (内藤 幸雄), (福田 傑), (中村 豊)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T02D  
 開講時限等: 3 年前期木曜 5 限  
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

**[講義目的]** 環境プランニング系の班は都市の場とシステムを作ってゆくための具体的な問題に基づいた演習を行う。AE1 クラスでは都市空間に関する課題を扱い、AE2 クラスでは環境や構造に関する課題を扱う。<P> メディアプランニング系の班 (AE3,AE4) は専門科目に関連するテーマについて各実験室において実験をメニューに基づき選択受講し、都市環境システムの「流れ」の重要な要素である環境物理化学、生物学、電磁気学、エネルギー学、騒音問題、熱流体力学等に関する実際の・基礎的の学力を身につける。<P> なお、授業開始前のガイダンスに必ず出席すること。

**[講義内容]** 環境プランニング系の班は、都市の場とシステムを作ってゆくための具体的な問題に基づいた演習を行う。AE1 クラスでは都市空間に関する課題を扱い、AE2 クラスでは環境や構造に関する課題を扱う。<P> メディアプランニング系の班 (AE3,AE4) は次の 7 テーマより 4 テーマをメニューにて選択し受講する。1) 水質計測実験、2) 環境微生物実験、3) 電磁気基礎実験、4) 風況データ収集と風力開発システム設計、5) 騒音計測実験、6) 流体計測、7) 熱流体計測実験。<P> なお、各テーマによって、時間がかかる場合は 2 3 コマの集中講義形式の時間配分となる可能性がある。<P> 授業開始前のガイダンスに必ず出席すること。

**[教科書・参考書]** メディアプランニング系の実験には「実験の手引」を配布する。

授業科目名 : 都市環境システム特別セミナー I  
 科目英訳名 : Special Seminar in Urban Environment Systems I  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T02E  
 開講時限等: 3 年前期集中  
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境					専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア					専門選択必修 (F20)

**[講義目的]** 都市環境システムの学習を進める上で、重要と思われるトピックスについて実務として活躍している学外講師による入門・解説・応用の講座である。今年度は、ISO 14000 シリーズ (環境管理システム, 環境監査, 環境ラベル, 環境パフォーマンス, 環境影響評価, 用語と定義) と環境調和型設計 (解体性, リサイクル性) についての講義と LCA ツールによる実習を行う。

**[講義内容]** (記述なし)

**[履修条件]** なし

授業科目名 : 都市環境システム実習  
 科目英訳名 : Practice in Urban Environment Systems  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T02F  
 開講時限等: 3 年通期集中  
 講義室 : 未定 (工学部)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境					専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア					専門選択 (F30)

**[講義目的]** 都市環境の形成にかかわる実社会の現場において一定期間 (2 週間以上) 実習を経験し、その知見から得た方法について報告書を作成し発表を行う。

**[講義内容]** (記述なし)

授業科目名 : プロジェクト研究 A  
 科目英訳名 : Project Study A  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T031

開講時限等: 3 年通期集中  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 学生自身が社会生活の中で遭遇した各種の課題を自ら提案し、その課題について個人またはグループによる研究や討論を行う。社会的な問題の提議とそれを考究して行く姿勢や方法を学ぶことが、この科目の目的である。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 都市環境デザイン  
 科目英訳名 : Urban Environment Design  
 担当教官 : 北原 理雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T27A

開講時限等: 3 年後期水曜 6 限  
 講義室 : 工 19 号棟 115 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ				専門選択 (F30)	
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン				専門選択 (F30)	
TF4:デザイン A 建築			専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 人びとの生活の場である都市環境を的確に読み解き、そのあるべき姿を構想する力を身につけてもらうことが、この講義の目的である。都市空間のさまざまな特性と社会との相関、それをなりたたせている仕組みなどを、具体的な事例にもとづいて考察する。

[講義内容] 1. 建築と都市空間(街並みをつくる建築, 都市の広場, 二つの都市空間, 見える秩序と見えない秩序)  
 2. 住まいと都市空間(環境を内包する住まい, 柔軟性を保証する建築タイプ, 街並みと住まい) 3. 都市の骨格(都市空間の計画方法, 都市空間の骨格と中身, 現代のグリッド都市) 4. 広場と街路(広場の伝統, 街路の文化, 人間のための都市空間) 5. 視覚空間と位相空間(地形原理と幾何学原理, 位相空間の原理, 生きられる場所)

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] S. E. ラスムッセン: 都市と建築, 東京大学出版会(参考書) J. ゲール: 屋外生活の生活とデザイン, 鹿島出版会(参考書)

[備考] レポートと出席を主体に成績評価を行う(水準に達しないレポートは再提出)。



授業科目名 : 都市建築デザイン  
 科目英訳名 : Urban Architectural Design  
 担当教官 : 宇野 求  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T045

開講時限等: 3 年前期木曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度 1997 年
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T1:工業意匠 A	専門選択 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ			専門選択 (F30)				
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン			専門選択 (F30)				
TF4:デザイン A 建築			専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)			
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[講義目的] 現代建築および現代都市のデザインについて、古今東西の事例を具体的にとりあげながら紹介し、そのクリティカルなテーマおよび手法の基本的な考え方についてレクチャーを行っていきます。

[講義内容] 第1回 イントロダクション/建築と都市 第2回 建築と都市の型/形式、様式、装飾 第3回 素材/自然要素(光・風・水)、装置(家具と機械) 第4回 次元/空間の役割(機能) 第5回 変わる部分と変わらない部分/プライベートとパブリック 第6回 情報の空間 第7回 現代生活の型と建築 第8回 規模の計画 第9回 新しい施設の型 第10回 地域空間における建築の計画とデザイン 第11回 建築群のデザイン 第12回 情報社会における空間機能 第13回 ガラス建築/自動車と建築 第14回 自然と人工物/物質と光 第15回 まとめ

[履修条件] なし

[教科書・参考書] テキスト:「あたらしい建築計画」宇野求, 彰国社参考書 : 適宜, 紹介していきます。

[備考] 講義計画の内容を具体的な建築と都市のスライドで解説していきます。

授業科目名 : 地域環境デザイン  
 科目英訳名 : Regional Environment Design  
 担当教官 : 三国 政勝  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T044

開講時限等: 3 年後期火曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF4:デザイン A 建築			専門選択 (F30)		
TG:電子機械 A			専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 近代科学の方法は、細かく分割された対象のそれぞれの枠の中での精緻な分析が中心になっているが、まちづくり、むらづくりなどの取り組みにおいては、環境を総合的に捉え、新しいものを生み出すための方法が必要になる。その第一歩は、狭い専門領域に止まることなく、人間や社会に対する幅広い問題意識を持つことである。既に確立している学問知識の獲得よりも、問題の発見とその解決に向かって創意工夫する力を伸ばしたい。

[講義内容] 第1回 環境とは何か 認識と存在の哲学的考察 第2回 住居と生活の歴史的変遷 第3回 農村集落の空間特性 第4回 地域環境における共同性 第5回 土地利用計画における制度 第6回 集落地域整備の方法 第7回 農業・食料・農村をめぐる諸問題 第8回 漁村集落の空間構造 第9回 高齢者・障害者の住宅改善 第10回 バリアフリーのまちづくり 第11回 防災まちづくり 第12回 計画学の方法 集会所の研究を通して 第13回 まちづくり・むらづくりの事例 第14回 千葉県  
の環境問題 第15回 まとめ

[備考] 上記の予定は、内容、順序を一部変更する可能性がある。

授業科目名 : 環境制度論  
 科目英訳名 : environmental laws and policies  
 担当教官 : (倉阪 秀史)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T032

開講時限等: 3 年後期木曜 2 限  
 講義室 : 工 5 号棟 104 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン				専門選択 (F30)	
TG:電子機械 A		専門選択 (F30)			
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 環境問題をできる限り回避し最小化するための制度を作り上げていくことが、環境政策の課題である。環境政策は歴史も浅く、環境に関する制度も未だ完成途上にある。本講義では、環境政策の歴史を振り返りつつ、どのような制度が存在し、どのような政策手法が取られているのかを解説することを通じて、受講者の政策立案能力の開発と向上を図ろうとするものである。

[講義内容] 1．環境政策論（環境制度論）とは何か。2．環境問題の変遷と環境政策の歴史 3．環境政策の目標・原則・主体 4．環境政策の諸手法 5．環境政策手法の選択

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 追って指示する

[備考] 上記講義室は「試験のための場所」で、通常の講義は総合校舎 B 号館で行ないます。過去の講義のレジュメなどは、<http://www.hh.ij4u.or.jp/~kurasaka> を参照。試験は今週中に「ここ」に掲示する。

授業科目名 : 都市計画マネジメント I  
 科目英訳名 : City Planning Management I  
 担当教官 : (原 昭夫)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T033

開講時限等: 3 年後期月曜 4 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境					専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門選択 (F30)

[講義目的] 講義概要「市民の視点からのまちづくり」を実践する方法を考える。内容は、以下の通り 1:まちづくりのキッカケを創る。2、まちづくりゲームなど楽しい参加の方法。3、市、県など市民との協力関係づくりの方法。4、市民による各種のまちづくり組織の設立と運営。市民まちづくりの事例を取り上げると共に市民まちづくりの事例を取り上げ、実践的学習を重視し、まちづくりの現場での住民との共同作業を含む過程を設ける。

[講義内容] (記述なし)

[履修条件] 大学外のまちづくり現場での授業がある。

[教科書・参考書] 学期の冒頭に、参考書リストを配布する。

授業科目名 : 環境基礎解析 I  
 科目英訳名 : Environment Mathematics I  
 担当教官 : 腰越 秀之  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T035

開講時限等: 3 年後期水曜 4 限  
 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市環境に現れる緒現象を数理的にとらえるための基礎的資質を養うことを目的に講義する。この講義では、現象を数理的に記述するためのモデリングとその解析方法及び数値計算法について基本的な例を通して考察する。

[講義内容] 次の3つのテーマについて講義する。1. 大気中のばい煙の拡散と健康・環境基準についての考察 2. 現象のモデリングとその数理的考察 3. 数理モデルの解析と数式処理ソフト利用による考察

[履修条件] 「微分方程式」、「フーリエ解析」、「統計学」を受講していることが望ましい。

[備考] 成績評価: 試験、レポートの提出、講義への出席などで評価する。

授業科目名 : システム評価  
 科目英訳名 : Systems evaluation  
 担当教官 : 塩田 茂雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T036

開講時限等: 3 年後期火曜 4 限  
 講義室 : 工 5 号棟 105 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH3:情報画像 A 画像材料工学			専門選択 (F30)		
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 情報処理システム(コンピュータ,通信ネットワーク)や物流システムに代表される「確率システム」を設計・運用・管理する上で必要となる「性能評価技術」の基礎を解説する。特に、確率論,確率過程論,待ち行列理論の解説に力点を置く。

[講義内容] 確率論(確率空間,確率変数,期待値,分散,母関数,特性関数,極限定理),確率過程論(再生過程,マルコフ連鎖,マルコフ過程),待ち行列理論(ケンドールの記号,リトルの公式,ポラチェック・ヒンチンの公式,処理規律,M/M/1システム),待ち行列理論の応用例(窓口システム/電話回線/WAN回線の設計)等。

[教科書・参考書] 教科書はなし。参考図書:「性能評価の基礎と応用」亀田・紀・李著(共立出版)、「確率と確率過程」宮沢政清(近代科学社),等。

授業科目名 : 生産再生設計論 I  
 科目英訳名 : Recycle Engineering I  
 担当教官 : 小倉 裕直  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T037

開講時限等: 3 年後期火曜 5 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市における生産再生(リサイクル)設計に関して、これを化学システムとして捕らえ、それを理解するための基礎科学について学ぶ。エネルギー & マテリアルフローという観点から、物質の化学変化、状態変化、移動現象を熱力学と速度論に基づいて修得する。

[講義内容] 第 1 回 化学システムとしての地球環境、資源・エネルギー・リサイクル第 2 回 物理化学の基本、気体、保存則第 3 回 熱力学第一法則とエンタルピー第 4 回 熱力学第二法則とエントロピー第 5 回 相転移、状態図と自由エネルギー第 6 回 反応、平衡、イオン、酸・塩基第 7 回 力学、流れの物質・エネルギー・運動量収支第 8 回 熱移動 - 伝導、対流、輻射第 9 回 物質移動、拡散と分子運動第 10 回 断熱、熱交換、乾燥、調湿第 11 回 蒸発、凝縮、蒸留、吸収、吸着、濾過、集塵第 12 回 化学反応速度論、溶液反応、固相反応第 13 回 プロセス制御、最適化第 14 回 エネルギー・資源のリサイクル第 15 回 試験

授業科目名 : 複雑系概論  
 科目英訳名 : Introduction to Complex System  
 担当教官 : (松下 貢)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T038

開講時限等: 3 年後期集中  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TG:電子機械 A				専門選択 (F30)	
TH1:情報画像 A 情報工学					専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学			専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 簡易シラバス(講義概要): 近年、数理科学の分野で、線形理論では把握できない現象が多く見られるようになった。講義では、いくつかの現象を例示しながら、カオスやフラクタルなどの概念を導入し、その基本的な考え方を示す。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 専門英語 II  
 科目英訳名 : English for Urban Environment Systems II  
 担当教官 : (Jack Leaver)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T039

開講時限等: 3 年後期月曜 5 限  
 講義室 : 工 5 号棟 105 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ:都市環境 B	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)

[講義目的] 専門英語 I に引き続き、都市環境に関わる英文テキストを講読し、より高度な読解力、表現力、理解力を育てる。

[講義内容] 第一回目にクラス分けを行う。非常勤講師 Leaver 先生の指示により教材決定。

授業科目名 : 専門英語 II  
 科目英訳名 : English for Urban Environment Systems II  
 担当教官 : (Matthew H Wichiens)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T03A

開講時限等: 3 年後期月曜 5 限  
 講義室 : 工 5 号棟 104 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ:都市環境 B	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)

[講義目的] 専門英語 I に引き続き、都市環境に関わる英文テキストを講読し、より高度な読解力、表現力、理解力を育てる。

[講義内容] 第一回目にクラス分けを行う。非常勤講師 Wichiens 先生の指示により教材決定。

授業科目名 : 都市環境システム演習 III  
 科目英訳名 : Seminar in Urban Environment Systems III  
 担当教官 : (小川 晃一)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T03B

開講時限等: 3 年後期土曜 1 限  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 環境プランニング系の班は都市の場とシステムを作ってゆくための実際的な提案を含む演習を行う。AE1 クラスでは都市空間に関する課題を扱い、AE2 クラスでは環境や構造に関する課題を扱う。メディアプランニング系の班 (AE3,AE4) は情報通信システム設計とエネルギーシステム設計のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[講義内容] 環境プランニング系の班は都市の場とシステムを作ってゆくための実際的な提案を含む演習を行う。AE1 クラスでは都市空間に関する課題を扱い、AE2 クラスでは環境や構造に関する課題を扱う。メディアプランニング系の班 (AE3,AE4) は情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) とエネルギーシステム設計 (省エネルギー手法とその効果算出) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[備考] 講義への出席、およびレポートの成績などで評価する。この授業の開講及びガイダンス日時については学科の掲示板に掲示される。

授業科目名 : 都市環境システム演習 III  
 科目英訳名 : Seminar in Urban Environment Systems III  
 担当教官 : (小川 晃一)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T03C

開講時限等: 3 年後期土曜 4 限  
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室, 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 環境プランニング系の班は都市の場とシステムを作ってゆくための実際的な提案を含む演習を行う。AE1 クラスでは都市空間に関する課題を扱い、AE2 クラスでは環境や構造に関する課題を扱う。メディアプランニング系の班 (AE3,AE4) は情報通信システム設計とエネルギーシステム設計のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[講義内容] 環境プランニング系の班は都市の場とシステムを作ってゆくための実際的な提案を含む演習を行う。AE1 クラスでは都市空間に関する課題を扱い、AE2 クラスでは環境や構造に関する課題を扱う。メディアプランニング系の班 (AE3,AE4) は情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) とエネルギーシステム設計 (省エネルギー手法とその効果算出) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[備考] 講義への出席、およびレポートの成績などで評価する。この授業の開講及びガイダンス日時については学科の掲示板に掲示される。

授業科目名 : 都市環境システム演習 III  
 科目英訳名 : Seminar in Urban Environment Systems III  
 担当教官 : (塩島 壯夫)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T03D

開講時限等: 3 年後期木曜 5 限  
 講義室 : 工 5 号棟 105 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 環境プランニング系の班は都市の場とシステムを作ってゆくための実際的な提案を含む演習を行う。AE1 クラスでは都市空間に関する課題を扱い、AE2 クラスでは環境や構造に関する課題を扱う。メディアプランニング系の班 (AE3,AE4) は情報通信システム設計とエネルギーシステム設計のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[講義内容] 環境プランニング系の班は都市の場とシステムを作ってゆくための実際的な提案を含む演習を行う。AE1 クラスでは都市空間に関する課題を扱い、AE2 クラスでは環境や構造に関する課題を扱う。メディアプランニング系の班 (AE3,AE4) は情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) とエネルギーシステム設計 (省エネルギー手法とその効果算出) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[備考] 講義への出席、およびレポートの成績などで評価する。この授業の開講及びガイダンス日時については学科の掲示板に掲示される。

授業科目名 : 都市環境システム演習 III  
 科目英訳名 : Seminar in Urban Environment Systems III  
 担当教官 : (神谷 清)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T03E

開講時限等: 3 年後期月曜 7 限  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 環境プランニング系の班は都市の場とシステムを作ってゆくための実際的な提案を含む演習を行う。AE1 クラスでは都市空間に関する課題を扱い、AE2 クラスでは環境や構造に関する課題を扱う。メディアプランニング系の班 (AE3,AE4) は情報通信システム設計とエネルギーシステム設計のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[講義内容] 環境プランニング系の班は都市の場とシステムを作ってゆくための実際的な提案を含む演習を行う。AE1 クラスでは都市空間に関する課題を扱い、AE2 クラスでは環境や構造に関する課題を扱う。メディアプランニング系の班 (AE3,AE4) は情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) とエネルギーシステム設計 (省エネルギー手法とその効果算出) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[備考] 講義への出席、およびレポートの成績などで評価する。この授業の開講及びガイダンス日時については学科の掲示板に掲示される。

授業科目名 : 地球環境システム論  
 科目英訳名 :  
 担当教官 : (内山 茂久)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T03F

開講時限等: 4 年前期木曜 4 限  
 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ				専門選択 (F30)	
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 都市環境マネジメント I  
 科目英訳名 : Urban Environment Management I  
 担当教官 : (都市環未定)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T040

開講時限等: 4 年前期水曜 3 限  
 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境					専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア					専門選択必修 (F20)

[講義目的] 21 世紀は「環境の世紀」と言われている。人類社会が健全に地球上に存続することが出来るための選択とは一体何だろうかを、都市空間における市民・企業人・各種団体人の立場で考察する。具体的には、持続可能な開発・ISO-14001 を中心とした環境マネジメントシステム・環境アセスメント・廃棄物問題等について講義並びに学生中心の討議と演習をする。

[講義内容] 1. 「環境の世紀」実現に向けて、2. 持続可能な産業システムへの挑戦、3. 環境マネジメントシステム導入の目的、4. 環境マネジメントシステムとは何か？5. 初期環境レビュー、6. 環境方針の定義、7. 環境アクションプランの開発、8. 環境責任の定義、9. 環境マネジメントシステムの監査、10. 外部とのコミュニケーション、11. 発電所建設に係わる環境アセスメント、12. ダイオキシン問題、13. 廃棄物処理施設、14,15. 討議と演習用の予備

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 講義のたびごとに指示

授業科目名 : 都市環境システム特別セミナー II  
 科目英訳名 :  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T041

開講時限等: 4 年前期集中  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 卒業研究  
 科目英訳名 : Graduation Research  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 6.0 単位  
 履修登録コード: T043

開講時限等: 4 年通期集中  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 学生毎に都市環境システムに関連する研究課題を特定し、十分な体験と理解および新しい知見が得られるように学生の個性と能力に合った個別指導を行う。研究・計画など総合能力を高めることを目的とする。

[講義内容] 各学生は研究室に所属し、各教官から個別に指導を受ける。一年間を通じて主体的なテーマをもって研究・計画を行う。最終的に卒業研究発表会を行い個別に評価される。

授業科目名 : 応用数学 I  
 科目英訳名 : Advanced Engineering Mathematics I  
 担当教官 : (今井 仁司)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2BC

開講時限等: 3 年前期集中  
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)				
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI1:物質 A 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI2:物質 A 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI3:物質 A 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 数値計算法の方法のうち、差分法、有限要素法、境界要素法について講義する。

[講義内容] (記述なし)